

1～6月で50件の新規認定

「相談会」などを通じて66人が建交労に加入

道本部労災職業病部会は今年1～6月の新規認定のとりくみなどをまとめました。新規の労災認定は合計50件（うち4～6月は27件）で、振動障害が24件（同13件）、じん肺が4件（1件）、じん肺遺族補償が3件（2件）、アスベスト疾患が3件（1件）、騒音性難聴が15件（10件）、その他が1件です。また、1～3月を中心に各地でとりくんだ「健康相談会」などを通じて新たに建交労に加入した被災者が66人でした。

労災職業病部会が「建設アスベスト給付金」学習会

道本部労災職業病部会は5月19日に「建設アスベスト救済制度の内容と建交労としてのとりくみ」についての学習会をおこない、部会役員など13人が参加しました。講師は「建設アスベスト給付金」で成果をあげている札幌労災支部の高橋書記長で、情報提供サービスを利用した場合と利用しなかった場合の比較や、職歴作成など申請時の注意点についての説明がありました。

道本部青年部が平和学習・交流会

道本部青年部は5月31日に函館で「平和学習・交流会」を開催し、函館支部と旭川支部から6名が参加しました。「建交労フェスタ」（6月6～8日・広島）の事前学習として鈴木青年部長を講師に学習し、函館の「平和行進」に参加しました。また、午前中には福島町にある「青函トンネル記念館」も見学しました。

北海道鉄道本部・「パークゴルフ交流会」

優勝賞品の山形の特別栽培米は苗穂支部・最上さんに

平均気温を超える暑い日が続いた6月最後の日となった6月30日に、北海道鉄道本部の初夏の行事になっている「パークゴルフ交流会」を三笠市・サンパークゴルフ場でおこないました。当日は曇り空ながら蒸し暑く、スタートして間もない午前10時頃には20分ほど雨が降りましたが無事にプレーを終えることができました。今回は、国鉄闘争時代から物資販売でお世話になっている山形県置賜産直センターから取り寄せた特別栽培米5kgを優勝賞品に、17名の仲間が日ごろ鍛えた腕前を競いました。4コースを回って109打の苗穂支部・最上さんが優勝し、準優勝には滝川支部・佐藤さん、3位は地域の大会でも腕を磨き絶好調の苗穂支部・梅木さんをはじめ、旭川から参加した江口さんと家族会の佐藤悦子さんの3人でした。ブービー賞は定位置を守った滝川支部の畠山さんが、初参加の大井さんを抑えて賞品を獲得しました。終了後にはCコース1番ホールで、ニアピン賞を賭けたワンショットマッチをおこない、「最近調子が悪い」と言っていたボヤキの苗穂支部・宮武さんが、孫へのお土産をGETすると放った一打をカップまでクラブ2本の位置につけ、副賞の特別栽培米を獲得しました。終了後には、隣接の「太古の湯」で昼食をとり、温泉で汗を流しました。竹田委員長は「先輩たちの元気な姿を眺めて、夏季一時金交渉の疲れも癒されました。次回のパークゴルフ交流会は9月におこなう観楓会と同時開催となります。ラッキー賞のパット大会で優勝するために、労働センターの会議室でパットの練習を積んでいきます」と意気込みを語っています。